

令和5年度 学校評価アンケート（1回目） 結果

番号	質問内容	対象	質問	令和5年度1回目（令和5年7月実施）のものを示しています。 ※全ての数値を合計しても100%にならない場合は、小数点以下を四捨五入しているためです。 2回目は、令和5年12月に行う予定です。					
				高評価		低評価			
				あてはまる	ほぼあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	分からない	
1	教育方針の周知【総務】	保護者	学校は、教育方針（本年度の重点目標等）を分かりやすく伝えている。	R5①	33%	52%	12%	3%	
				R5②	令和5年12月に実施予定				
		学運協	学校は、教育方針（本年度の重点目標等）を分かりやすく伝えている。	R5①	80%	20%			
				年度当初に、学校だよりやPTA総会において説明させていただいたものをしっかりと理解していただき、大変ありがたいです。これからも、学校の取組等、できるだけわかりやすく伝えていきたいと思ひます。					
2	学校生活への取組【健やかな心と体】	児童	自分は学校に来て勉強したり、友達と遊んだりするのが楽しい。	R5①	76%	11%	7%	4%	2%
				R5②					
		保護者	お子さんは、学校で楽しく学習したり、友だちと遊んだりしている。	R5①	58%	36%	3%	3%	
				R5②					
		職員	子どもたちは、楽しく学習したり、友だちと遊んだりしている。	R5①	67%	22%	11%		
		R5②							
		学運協	子どもたちは、学校で楽しく学習したり、遊んだりしている。	R5①	20%	40%	40%		
		R5②							
				学校運営協議会の方の評価の中で「わからない」という回答が多数あったため、学校だよりや学校のHPを活用して、地域の方にも普段の学校生活や行事の様子を積極的に発信していきたいと思ひます。また、学校にもたくさんお越しいただき、児童の学習の様子を見ていただけると有難ひです。					
3	学習指導【確かな学力】	児童	先生は、勉強内容がよく分かるように教えている。	R5①	76%	11%	7%	4%	2%
				R5②					
		保護者	学校は、基礎的な学力（学習内容）が身につくように取り組んでいる。	R5①	42%	39%	15%	3%	
				R5②					
		職員	自分は、基礎的な学力（学習内容）が身につくように取り組んでいる。	R5①	56%	22%	11%	11%	
		R5②							
		学運協	学校は、基礎的な学力（学習内容）が身につくように取り組んでいる。	R5①	20%	60%	20%		
		R5②							
				より基礎的な学力（学習内容）や日常生活に活用する力が身につくよう、今後も授業改善に取り組んでいきたいと思ひています。また、やまぐち子学習プリントやデジタルコンテンツなども活用し、いろいろなお子さんに「個別最適」となるような取組を行っていきたくて思ひています。					

4	家庭学習 【確かな学力】	児童	自分は、家庭学習（低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上）をしている。	R5①
		保護者	おさんは、家庭学習（低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上）をしている。	R5①
		職員	子どもたちは、家庭学習（低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上）をしている。	R5①
		学校からは各学年の家庭学習の目安時間に達するような内容を宿題として出していますが、個人差もあるので足りない場合は自主学習をするよう子どもたちに進めています。これからは、自分で学習を計画する力や学習内容を選択する力が大切になってくるので、中学年以降では自主学習の進め方やメニューなどの参考例をアドバイスしていきたいです。家庭学習については、時に確認やおさんが困っている際は、アドバイスをお願いします。		
5	読書活動 【確かな学力】	児童	自分の目標を達成できるように読書をしている。	R5①
		保護者	おさんは、自分の目標が達成できるように読書をしている。	R5①
		職員	子どもたちは、自分の目標が達成できるように読書をしている。	R5①
		学校では黙々と読書をする姿も多く見かけます。学校では「すきま読書（準備が早めに終わったときなど少しの時間を活用した読書）」を推奨したり、学期に1回読書週間を設けたりして読書活動の推進に努めています。読書週間の取組については検討をしてより読書活動が進むよう工夫していきたいと思ひます。引き続き、ご協力をお願いします。		
6	子どもへの評価 【確かな学力】	児童	先生は、話をよく聞いてくれたり、がんばったことをほめたりしてくれる。	R5①
		保護者	学校は、子どもの話をよく聞き、がんばったことをほめている。	R5①
		職員	自分は、子どもたちの話をよく聞き、がんばったことをほめている。	R5①
		授業や行事では自分の取組について振り返りを書いていきます。その振り返りにコメントを書いてがんばりを認めたり、帰りの会などでよいこと見つけ等をして児童同士で見つけたよさを価値づけたりしています。また、学期1回の教育相談期間に担任と1対1で話をする機会を設けて、一人ずつの伸びについて伝えていきます。今後も、具体的な言葉かけでよさやがんばりを認めていきたいと思ひます。		

7	異学年交流 【健やかな心と体】	児童	自分は、ふれあい班で互いの良さを認めて、仲良く協力して活動している。	R5①
		保護者	お子さんは、異学年の友だちのよさを認め、協力して登下校したり活動したりしている。	R5①
		職員	子どもたちは、ふれあい班でよさを認めて協力して活動している。	R5①
		本校は児童数が少ないからこそ学年を越えて、協力し合う姿が多く見られます。今後も、校内外関わらず、高学年が中心となって児童が主体的に助け合うことができるように支援していきます。		
8	あいさつ活動 (ほかほかあいさつ) 【健やかな心と体】	児童	自分から先に、相手を見て笑顔であいさつができています。	R5①
		保護者	お子さんは、自分から、相手を見て笑顔で気持ちの良いあいさつをしています。	R5①
		職員	子どもたちは、自分から、相手を見て笑顔で気持ちの良いあいさつをしています。	R5①
		学運協	子どもたちは、地域の人にもよく(自分から、相手を見て笑顔で)あいさつができています。	R5①
委員会活動や学校運営協議会の皆さんのあいさつ活動のおかげでほかほかあいさつをしていると高評価している児童が84パーセントになりました。しかし、保護者の方や教職員は、もう少し自分から相手を見てあいさつをしてほしいと願っていることが分かります。引き続き、自分から相手を見てあいさつができるように学校でも指導しますので、ご家庭でもお声かけをお願いします。				
9	思いやりのある言動 (ふわふわことば) 【健やかな心と体】	児童	自分は、相手を思いやった行動や言葉がけができています。	R5①
		保護者	お子さんは、相手を思いやった言動や言葉がけができています。	R5①
		職員	子どもたちは、相手を思いやった言動や言葉がけができています。	R5①
		学運協	子どもたちは、相手を思いやった行動や言葉がけができています。	R5①
児童の評価と大人の評価に大きく差があり、とくに児童間で思いやりのある言動が少ないように感じます。毎週の生活アンケートに書かれる自分がされて嬉しかった友達の言動をお昼の放送で全校児童に紹介をして、児童が他者と関わる中で多様なふわふわ言葉を使えるようにしていきます。				

10	体力作り 【健やかな心と体】	児童	自分は学校や家で体力作りのための運動に取り組んでいる。	R5①
		保護者	家庭でお子さんと体力作りの運動を行っている。	R5①
		職員	自分は、子どもたちの体力作りとなる運動に取り組ませている。	R5①
		学運協	学校は、体力作りに取り組んでいる。	R5①
		<p>おうちで運動に日々取り組んでいただいているおかげで児童の新体力テストの結果は昨年度より向上しましたが、持久力にはまだ課題がみられます。今後ともおうち運動へのご協力をよろしくお願いします。</p>		
11	安全 【健やかな心と体】	児童	自分は、廊下を歩いて安全に気を付けている。	R5①
		保護者	お子さんは、安全に気を付けて生活するように努めている。	R5①
		職員	子どもたちは、廊下を歩き安全に気を付けている。	R5①
		学運協	子どもたちは、地域で安全に気を付けて過ごしている。	R5①
		<p>地域での過ごし方について、学校で指導していることが、地域の方の良い評価に繋がっていて嬉しく思います。しかし、廊下歩行や雨の日の過ごし方についてはまだまだ課題が残るため、生徒指導主任を中心に学校での安全な過ごし方について引き続き指導を行っていきます。</p>		
12	地域連携教育 【確かな学力】	児童	地域の人にあいさつをしたり、地域の人との勉強にとりくんだりしている。	R5①
		保護者	学校では、地域と交流を深めながら、学校支援、地域貢献を進めている。	R5①
		職員	自分は、地域人材を活用するとともに地域貢献を視野に入れた取り組みをしている。	R5①
		学運協	学校では、地域と交流を深めながら、学校支援、地域貢献を進めている。	R5①
		<p>様々な行事や場面で、たくさんのご協力や見守り、また、学校の取組への理解をしていただいていることに感謝しています。今後とも地域の方のかかわりのある活動をたくさん取り組んでいく予定ですので、ご協力、よろしくお願いします。</p>		
13	業務への取り組み 【総務】	職員	自分のもつクラスや校務分掌等の仕事を効率よく行っている。	R5①
		<p>働き方改革を進めずために業務の精選や支援ツールの活用等を進めていますが、教職員の仕事効率の向上や意識改革も大事です。それらを合わせて行い、改革が進むようにしたいと思います。</p>		